**第19回国立精神・神経医療研究センター神経内科短期臨床研修セミナー申込用紙**

後述の説明文をよく読んで記載してください．

|  |  |
| --- | --- |
| ﾌﾘｶﾞﾅ  氏　名 |  |
| 性　別 | 男性　　女性　　その他 |
| 連絡先メールアドレス |  |
| セミナー当日に連絡がつく携帯電話番号 |  |
| 生年月日（年齢） | 西暦 年　　月　　日（ 歳） |
| 参加形態 | 現地参加希望　　　　　オンデマンド視聴希望 |
| 駐車券  自家用車でいらっしゃる方には駐車券（1日100円）を配布いたします． | 希望する　　　　　　　　　　　希望しない |
| 勤務先名称 |  |
| 勤務先住所 |  |
| 勤務先電話番号 |  |
| 卒業大学/大学卒業年 | 大学/　西暦 20 年3月卒 |
| 電気生理実習（1日目）  ※現地参加者のみ対象．  ※簡単な説明を後述していますので，ご覧になってから選択してください．ご希望に添えない場合があることをご了承ください． | ①上級者　②中級者　③初学者  第1希望　　　　　　第2希望 |
| 電気生理検査習熟度  ※現地参加者のみ選択してください．  ※グループ振り分けの参考にします． | 習熟度　　　（A-Eで記載してください）  A. 一人で筋電図を実施できる  B. 反復刺激検査やblink reflexが自分でできる  C. 初歩的な神経伝導検査なら自分でできる（伝導速度，CMAP，SNAPを理解している）  D. 神経伝導検査の見学はしたことはあり，原理も理解しているが自分一人ではできない  E. 電気生理検査に関する知識・経験が全くない，あるいはほとんどない初心者である |
| 選択講義（1日目）  ※現地参加者のみ選択してください．  ※簡単な説明を後述していますので，ご覧になってから選択してください．ご希望に添えない場合があることをご了承ください． | ①初学者のための嚥下機能検査  ②初級者のためのボツリヌス毒素製剤注射法  ③神経筋疾患における人工呼吸器療法  ④臨床研究のイロハ  ⑤パーキンソン病治療薬の使い分け  ⑥筋疾患を診断してみよう～臨床所見・画像の初歩～  希望する実習の番号を入れてください．  第1希望　　　　　　第2希望　　　　　　第3希望  第4希望　　　　　　第5希望 |
| 研究所見学（1日目）  ※現地参加者のみ対象．  ※ご希望に添えない場合があることをご了承ください． | ①神経変性疾患　　②遺伝子疾患と筋疾患  ③神経画像　　　　　④免疫疾患  希望の研究所の番号を入れてください．  第1希望　　　　　　　　第2希望  第3希望 |
| このセミナーをどこで知りましたか | インターネット　　知人の紹介　　先輩・上司の勧め  職場のポスター  その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 来年度以降の勤務先 | 決まっている　　未定  来年度以降，国立精神・神経医療研究センターでの研修も考えている |
| センター内宿泊施設（有料）  ※数が少なく，全員の部屋はありません．希望者多数の場合，NCNPから先生方の勤務施設までの距離の順に利用していただきます． | 利用を希望する　利用を希望しない |

日程

2023年7月17日（月）祝日

09:55－10:00　オリエンテーション（小田真司）

10:00－10:05　はじまりの挨拶（阿部康二）

10:05－11:05　座学①神経内科学総論＋神経遺伝学（髙橋祐二）60分

休憩10分

11:15－11:55　座学②PDと類縁疾患（弓削田晃弘）40分

11:55－12:35　休憩と昼食40分

12:35－13:15　電気生理講義（岡本智子）40分

休憩10分（移動時間含む）

13:25－14:15　電気生理実習（1回目）と選択実習（前半）（50分）

休憩15分（移動時間含む）

14:30－15:20　電気生理実習（2回目）と選択実習（後半）（50分）

休憩10分（移動時間含む）

15:30－16:40　患者診察指導（髙橋祐二）

休憩10分

16:50－17:30　座学③不随意運動の診断と治療（向井洋平）40分

休憩10分

17:40－18:20　座学④小脳失調症（水澤英洋先生）40分

休憩10分

18:30－19:30　クリニカルカンファレンス　60分

2023年7月18日（火）　平日

8:30－ 9:10　座学⑤MSとNMO（山村隆先生）40分

休憩10分

9:20－10:00　座学⑥認知症（プリオン病を含む）（塚本忠先生）40分

休憩10分

10:10－10:50　座学⑦神経画像（佐藤典子先生）40分

休憩10分

11:00－11:40　座学⑧筋疾患（大矢寧先生）40分

休憩と昼食40分

11:45－12:15　レジデントの1週間、当院での研修の紹介（石原資）

移動10分

12:30－13:20　当センター研究所見学50分

休憩10分（移動時間含む）

13:30－14:10　座学⑨てんかんの脳波（金澤恭子）40分

休憩10分

14:20－15:00　座学⑩神経病理（髙尾昌樹）40分

15:00－15:10　休憩10分

15:10－15:40　座学⑪脳卒中やALSに対する神経保護療法（阿部康二、ビデオ講演）30分

休憩、アンケート 20分

16:00－16:30　修了証書授与、終わりの挨拶

青字は現地参加者のみが対象となります．

応募について

* 本セミナーは「脳神経内科学をもっと深く学びたい・臨床と研究の最前線に触れたい」と思っていらっしゃる若手医師の皆さんを対象としています．
* 申し込み方法は，申込用紙に必要事項をすべて記入し，ワード形式にてメールに添付し，向井洋平宛に送ってください．メールアドレスは[seminar\_neuro@ncnp.go.jp](mailto:seminar_neuro@ncnp.go.jp)です．（[CCで森裕子部長秘書 moriyuko@ncnp.go.jp](mailto:CCで森裕子部長秘書%20moriyuko@ncnp.go.jp) にも送っていただけますと助かります）．向井洋平もしくは勝元敦子もしくは小田真司が3日以内に返事をいたします．もし返事が届かない場合は，当施設のインターネットセキュリティーの干渉で当方へメールが届かない，迷惑メール認定されているなどの可能性があります．電話にてご確認ください（平日日中の代表連絡番号042-341-2711）．
* 「現地参加」と「後日のオンデマンド視聴」の選択式です．現地参加の方も後日オンデマンド視聴はできます（追加料金なし）．オンデマンド視聴は2023年10月頃-2024年3月末までの期限付き公開を予定しています．セミナー当日のリアルタイム配信はありません．募集人数は現地参加30名まで，オンデマンド視聴100名までです．締め切りは2023年6月18日（日）です．定員に達した時点でそれぞれ募集終了となります．短時間に定員を大幅に超える応募があった場合は，締め切り前に申込受付を終了し，抽選を行うこともあります．
* 現地参加者の受講料は10,000円，当日現地で現金でのお支払いをお願いします．2日間の昼食の代金も含まれています．
* 日本各地の先生方に参加していただきたいと考えておりますので，現地参加者は1施設あたり最大3人までとさせていただきます．
* オンデマンド視聴者の受講料は8,000円，事前の振り込みをお願いします．申し込みいただいてから，振込口座をお伝えします．
* キャンセルの場合は他のキャンセル待ちの希望者に参加していただきたいと思いますので，早めの連絡をお願いします．オンデマンド視聴のキャンセルは2023年7月16日までにしていただけますと，振込手数料を引いた金額を返金いたします．2023年7月17日以降のキャンセルはできません．
* 申込用紙は最初の2枚だけでかまいません．
* 研究所見学，選択実習の希望は可能な範囲で調整いたしますが，希望者が偏った場合は先着順となります．電気生理実習は経験と希望を考慮して調整します．いずれも希望通りにならない可能性があることはご理解お願いします．

座学「てんかんと脳波」について

実際の脳波を提示しながら，脳波判読について学びます．実例の解釈・診断が中心となるので，脳波に関する知識が全くないと理解できないと思われます．自信のない方は，簡単な医学書で事前予習をお願いします．お勧めは「飛松　省三. 脳波判読ナビ. 南山堂，東京，2016」

選択実習と電気整理実習は同時進行いたします．前後半に分かれており，例えばある参加者は

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 電気整理実習 | 選択実習 |
| 前半 |  | ①②③のいずれか |
| 後半 | 初学者，中級者, 上級者のいずれか |  |

別の参加者は

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 電気整理実習 | 選択実習 |
| 前半 | 初学者，中級者, 上級者のいずれか |  |
| 後半 |  | ④⑤⑥のいずれか |

となります。

選択実習について

1. 初学者のための嚥下機能検査：嚥下機能評価の方法について概説します．嚥下造影検査の実施方法とその評価方法について学びます．
2. 初級者のためのボツリヌス毒素製剤注射法：どのような症状に対し，どこへどれだけ投与すればよいか，具体的な使用法について学びます．全くボツリヌス毒素製剤の注射の経験がないような先生が主な対象です．
3. 神経筋疾患における人工呼吸器療法：救急現場の人工呼吸器管理は異なる，神経筋疾患患者で長期にわたる人工呼吸器管理について学びます．
4. 臨床研究のイロハ：臨床研究に興味があるけれども，どのように手を付けたらよいかわからない先生が参加するとよいでしょう．臨床研究のテーマの設定から研究計画作成までについて学びます．
5. パーキンソン病治療薬の使い分け：パーキンソン病治療薬は種類が多く，どのように使い分けたらよいか，どのくらいの量を処方すればよいのか，どう組み合わせればよいかわからないという先生が対象です．具体的な処方について学びます．
6. 筋疾患を診断してみよう～臨床所見・画像の初歩～：筋疾患は臨床現場で遭遇する機会が少ないこともあり，診断が苦手という先生も少なくありません．提示される典型例をみながら，筋疾患を診断するための要点を学びます．専門医試験対策にも．

電気生理実習について

上級者：実際の患者に検査を行いつつ，針筋電図検査結果の手技や解釈について学びます．希望者数があまりに少ない場合は中級者・初学者コースのみの開催となることがあります．

中級者：一般的な神経伝導検査については知識・経験がある先生方が対象です．反復刺激試験やblink reflexなどについて学びます．

初学者：初歩的な神経伝導検査の手技，波形を綺麗に出すためのコツ，トラブルシューティングなどについて学びます．

申し込み・問い合わせ・キャンセルの連絡等

国立精神・神経医療研究センター病院脳神経内科

第19回脳神経内科短期臨床研修セミナー担当　向井洋平　勝元敦子　小田真司

[seminar\_neuro@ncnp.go.jp](mailto:seminar_neuro@ncnp.go.jp)まで

CCで森裕子部長秘書　[moriyuko@ncnp.go.jp](mailto:moriyuko@ncnp.go.jp)　にもメールを送ってくださると幸いです．